

かつお一本釣り漁業 公表用実技試験問題（上級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着・収納（4分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
- ② 救助ロープを装着する。
- ③ 装着物を外し、正しく収納する。

【使用機材】各自通常使用中の上記装具、ロープ（約2 m）（人数分）

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（8分）

- ①～④から3つ、⑤～⑦から2つ（エイトロープの場合は1つ）を選ぶ。
- ① かえる又結び
 - ② 巻結び
 - ③ もやい結び
 - ④ アンカーベント（錨結び）
 - ⑤ バックスプライス
 - ⑥ アイスプライス
 - ⑦ ショートスプライス

【使用機材】長さ2 m、中程度の太さのロープ数本（人数分）

(2) 漁具の製作（15分）

鳥の毛を付け、皮を巻いた擬餌針を3つ作る。

【使用機材】別紙参照。（人数分）

3. 漁具・漁労機械の操作

(1) ソナー等の映像判断（5分）

画像を見て操業に必要な情報を読み取る。

【使用機材】DVD再生用パソコン、（ソナー映像は大日本水産会が用意）

(2) 鳥レーダーの映像判断（5分）

映像を見て船・対象物の方向、距離を判断する。

【使用機材】DVD再生用パソコン、（鳥レーダー映像は大日本水産会が用意）

(3) ロープの巻き上げ（5分）

ローラーとブロックを使い、錘を付けたロープを巻き上げる

【使用機材】ロープ（約20 m）、キャプスタン等のローラーとブロックを
設備した漁船。

以上

<別紙>

材料：釣り針（返しのあるもの）、



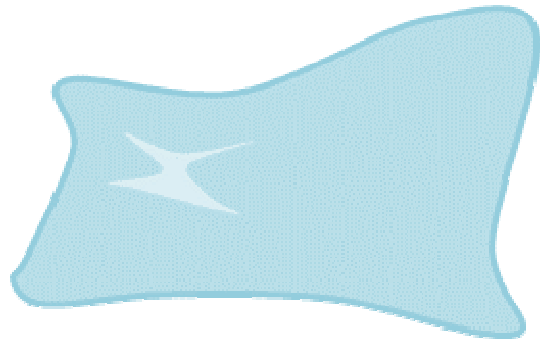
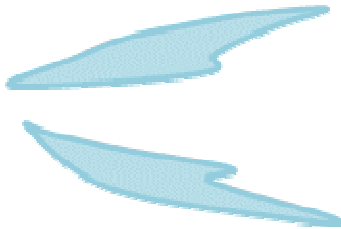
角（貝殻、動物の角類、人工的なもの）、



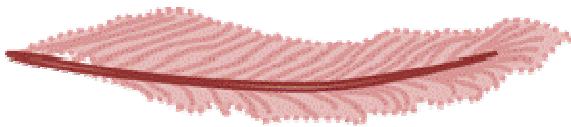
*釣り針と角が一体化したもので可



魚の皮（ビニールシート可）、



鳥の羽



完成品

